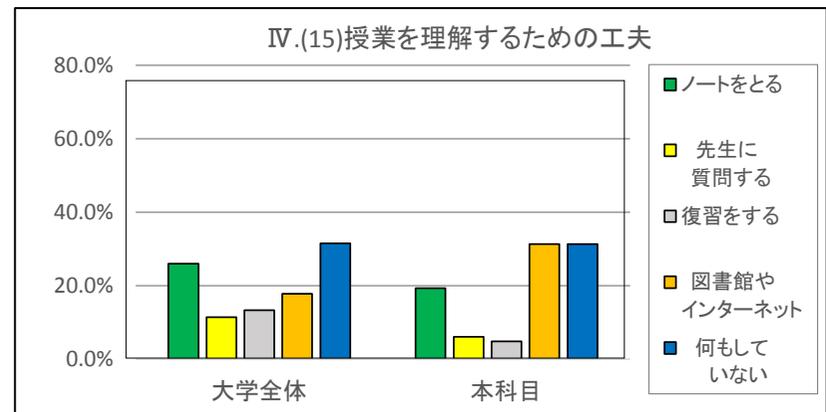


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	19.3%	6.0%	4.8%	31.3%	31.3%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.60	3.45
	I.(2)	3.66	3.56
	I.(3)	3.19	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.19	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.47	3.33
	II.(8)	3.55	3.42
	II.(9)	3.47	3.30
	II.(10)	3.27	3.23
	II.(11)	3.28	3.21
	II.(12)	3.58	3.48
	II.(13)	3.55	3.45
満足度	II.(14)	3.52	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.49	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.42	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.52	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	24107
科目名	キャリアディベロップメントⅡ
教員名	岡野 聡子

①授業計画の達成度について

本授業は、心豊かな人間の形成に資することを基本とし、社会性、公共性、現代性、緊急性の観点から現代的課題を取り上げ、社会人としての幅広い教養を身に付けることを目的としている。到達目標として、①各テーマに基づいた現代的課題を自分なりに考察し、人前で自分の考えを述べるができること、②自ら現代的課題を取り上げ、課題に対する自分の考えを1000字のレポートにして書くことができることを掲げている。授業計画の達成度について、全ての学生がプレゼンに参加できたこと、授業内にて論点整理を何度も繰り返したことにより、問題意識が明確にされたレポートの記述がなされており、到達目標はおおむね達成されたといえる。

②授業の進め方について

本授業では、学生のプレゼンをもとにし、個々人での論点整理→ペアワーク→全体発表(統括)の形式で行った。毎回、設定されたテーマに基づいて、それぞれの問題意識を明示し、賛成・反対、新たな提案等の話し合いを行った。また、学生自身が取り上げた問題意識に関する新聞記事を提示してもらい、討論の資料とした。90分の授業にて、3グループ(1グループ・3~4人)がプレゼンを行った。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生主体による授業の実施では、発表内容のレベルに差がある。今後の改善点として、教員によるチェック体制をさらに充実させる必要があると思われた。本授業の学生からの意見として、「賛成しかないと考えていた意見にも、全体発表の中で反対意見を言う学生がいて、違った視点を学ぶことが多くあった」や「プレゼンの技法も学ぶことができ、また学生発表もどんどんレベルが上がっていったので、毎回楽しく受講できた」とあった。